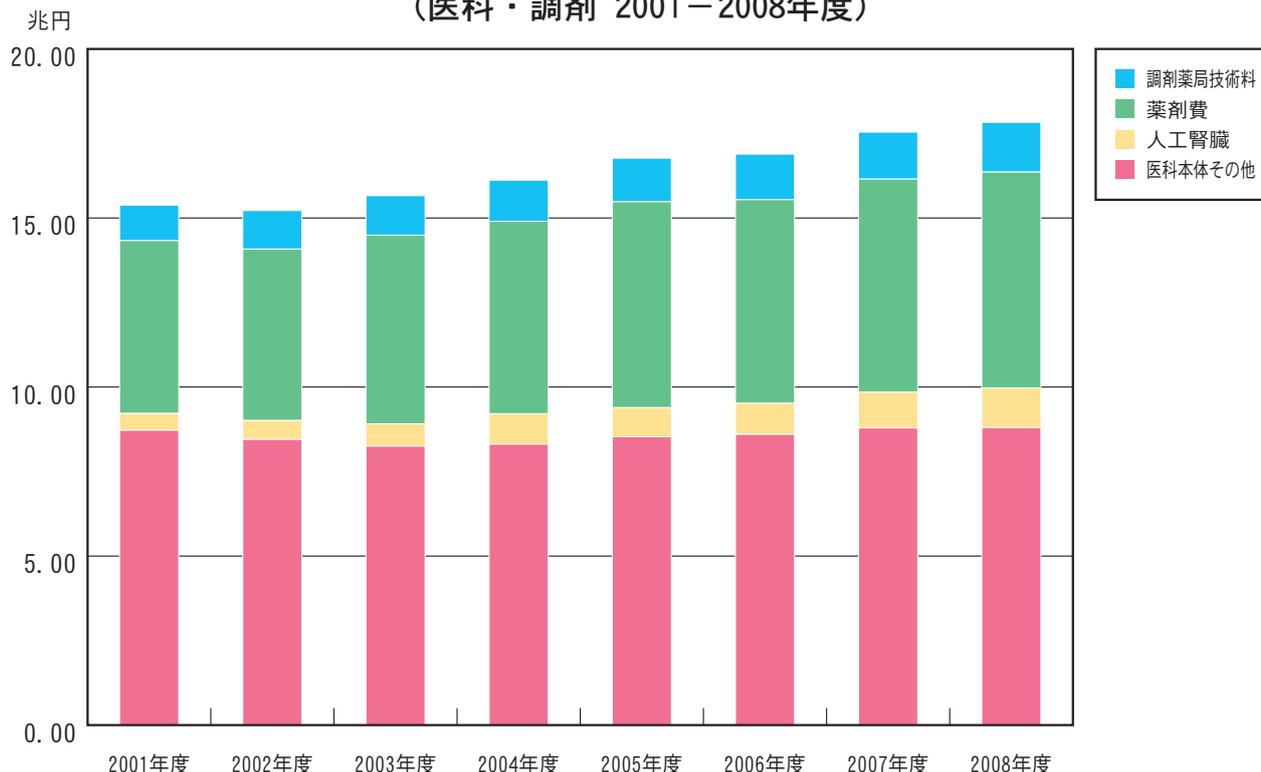
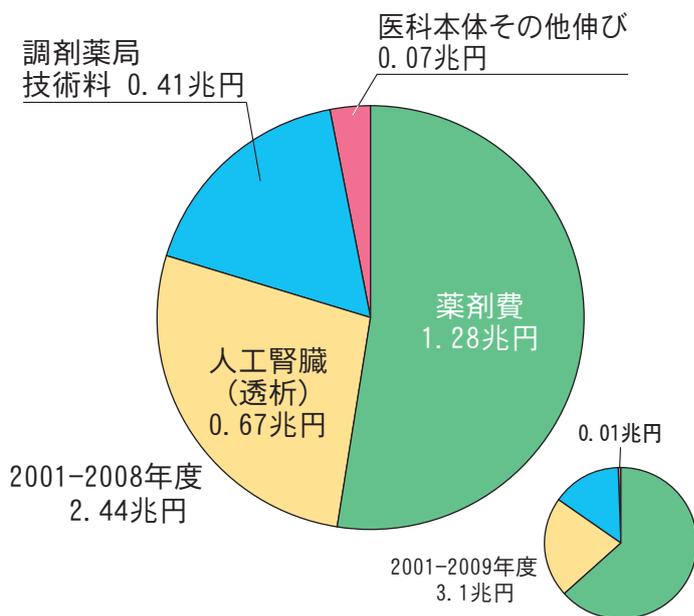


# 入院外医療費の伸び2.44兆円の内訳 (医科・調剤 2001-2008年度)



単位：兆円

	医科・調剤入院外医療費				合計
	薬剤費	人工腎臓(透析)	調剤薬局技術料	医科本体その他*	
2001年度	5.11	0.50	1.05	8.72	15.39
2002年度	5.07	0.56	1.14	8.45	15.22
2003年度	5.58	0.66	1.17	8.25	15.66
2004年度	5.69	0.90	1.22	8.31	16.12
2005年度	6.09	0.86	1.29	8.53	16.78
2006年度	6.02	0.92	1.35	8.60	16.89
2007年度	6.30	1.06	1.39	8.79	17.53
2008年度	6.39	1.17**	1.47	8.80	17.82
伸び額	1.28	0.67	0.41	0.07	2.44
伸び率	25.1%	132.6%	39.4%	0.8%	15.8%



※2009年度の社会医療診療行為別調査より概算すると、入院外医療費の伸びは3.1兆円。薬剤費の伸びは1.97兆円、医科本体その他伸びは0.01兆円となる。

\* 薬剤費と人工腎臓を除いた医科本体入院外医療費  
\*\* 2008年度人工腎臓は前年伸び率で補正

メディアス-制度別医療機関種類別医療費、社会医療診療行為別調査より作成

入院外医療費の伸びの大半は薬剤費によって占められ、人工腎臓(透析)、調剤薬局技術料の伸びを除くと、医科本体の医療費の伸びは0.07兆円に過ぎない。  
医療機関の薬価差益を乖離率から計算すると、2001年度0.21兆円、2008年度0.20兆円と増加していない。薬価差益の国民医療費に占める割合は0.6%である。  
薬価の▲改定により削減された財源は医療費本体に充当されていない。